

講座開設プログラムの提供とサポート体制

<ヴォイス・コラージュプロジェクトの概要>

「ボイス・コラージュ」とは、
その名前の通り様々な声を貼り合わせるという
新しい言葉です。

また、伝読とは「伝える」「伝わる」という
相互の対象に求められる読み方、伝え方のことをいいます。

決して一方通行の作用ではなく、
互いに、そして同時に考えていく、ということを考え、
大切にしていくことです。

このプロジェクトの目的は、
様々な分野で活躍する皆さんの声を集う、
つまり活躍の場所、交流の場所を作り、
互いの理解を深めて
「伝読」の「伝える」「伝わる」を
想像していくことにあります。

Voice collage project

<具体的な展開プラン>

1. 朗読講座開設のフォローアップ
2. 定期的な発表会並びに全国への配信。
3. エリア別朗読会の開催フォロー
4. 年1回程度の大規模発表会実施。
5. 声優並びに演者の育成フォロー
6. 朗読を活用した国語教育への連動

以上の事柄を計画しております。

Voice collage project

<講座の目的>

聞いてくれる人の感動のために

納得出来る朗読とは一体どんな朗読ですか？

「上手い朗読？」

「読み方が計画通りに読めた朗読？」

「良い声で読めた朗読？」

皆さんが目指している、納得出来る朗読は人それぞれで、実に沢山あります。

一つ共通していることは、

聞いてくれた人が感動してくれることではないでしょうか？

朗読も一段階段を上がると、そこには踊り場があって、

ある程度の満足はするのですが、

なにか物足りなくて、次の階段を上るのです。

今度の階段は同じ段差ではありませんね。

もっと上に行きたい、そのためにはどうしていいか悩みます。

今までのやり方では通じない、なにかが違うなあと。

そんな時にもこのトレーナー講座を

役立てていただきたいと考えています。

Voice collage project

<講座の目的>

一人ひとりの個性を大切に

その際には是非、朗読を「伝える」と「伝わる」の
両方向から再考してみてもはいかがでしょうか？

個人個人が持っている唯一無二のその声を活かした読み方の表現、
声の使い方、感じ方で、
その人にしか出来ない朗読を作るチャンスです。

新しく朗読へのアプローチをトレーニングし、
今度は皆さんがトレーナーとして、
その悩みを解決してあげられるスキルをお持ちになって
講座やスクール開講のイロハを提供する講座です。

Voice collage project

<講座の目的>

ナチュラルな読み方を大切に

朗読でも大切なのは、
その人しか持っていない、
その人だけの個性であり、声質、音色です！

無理に声を作ったり、
節をつけたり、
オーバーで、かっこいい読み方での
表現は一切必要ありません。

そんな事より多少の好き嫌いはあれど、
自分の声をオリジナルの個性と考えた
表現がとても大切になります。

Voice collage project

<講座の目的>

声の出し方を楽しくトレーニング

手始めに楽器としての声のあり方、
発声・表現方法をトレーニングしていきましょう！

声に関する授業と、表現の講座との
二つの講座を混合させた内容で考えました。

またそのためには、マイナス効果しかない、
必要のない講師と生徒という緊張感を無くして、

気軽に、楽しく、リラックスした状態が必要です。

トレーナーはあなたの魅力を引き出すパーソナルな演出家なんです。

この講座は通常の授業のカタチ、
つまり先生と生徒の関係では行いません。

Voice collage project

<講座の目的>

言語学から考え出された確かなスキルと練習方法

必要なのはトライ&チャレンジ！

多くの「こうしよう！ああしよう、こう読もう！」を
試して欲しいのです。

そのトライ&チャレンジが
多ければ多い程、上達するのは早いんです。

自分がどんなことを作品の文章や内容、
つまり文字情報に込めようとしているのか、
どのように計画、
プランニングしているのかを
組み立ててヒット&エラーを楽しんで
その上で客観的にセレクトして、
自由自在に伝えるスキルを獲得して欲しいのです

Voice collage project

<講座の目的>

言語学から考え出された確かなスキルと練習方法

必要なのはトライ&チャレンジ！

多くの「こうしよう！ああしよう、こう読もう！」を
試して欲しいのです。

そのトライ&チャレンジが
多ければ多い程、上達するのは早いんです。

自分がどんなことを作品の文章や内容、
つまり文字情報に込めようとしているのか、
どのように計画、
プランニングしているのかを
組み立ててヒット&エラーを楽しんで
その上で客観的にセレクトして、
自由自在に伝えるスキルを獲得して欲しいのです

Voice collage project

<講座の内容の詳細>

使える音域を拡げ、魅力的な声に

自然・豊かな朗読の為の腹式音階発声練習

声の違い(声道形状と身体との関係)

声帯(呼吸した息と声帯との関係)

声帯振動と共鳴腔(共鳴の必要性と鼻腔・口腔・咽頭腔との関係)

声の周波数(日常生活と朗読の際の差異&男性)

舌の活用(滑舌修正のための前位舌・下位舌などの修正練習)

腹式呼吸と肺活量の関係(基本練習方法とロングブレスの活用練習)

表現基礎への音声要因+(音圧・テンポ・高低強弱と活用)

表現基礎への音声要因.(リップロール・タンゲットルクを活用した表情筋と滑舌)

Voice collage project

<講座の内容の詳細>

感情表現を豊かにしましょう

表現開発の為のジブリッシュ（喜怒哀楽などの表現）と
英語を取り入れた（オープンマインド）練習

助詞を省いた伝読の強化

ジブリッシュ活用で伝読の強化

英語の活用で伝読の強化

呼吸法の活用で伝読の強化

表現基礎の標準語とプロミネンス

多くの人に「伝える」と「伝わる」ための表現基礎

プロミネンスの理解と活用（文章内の位置で変化するプロミネンスの活用）

イントネーション・標準語の理解（歌唄としての感覚の同期）

<講座の内容の詳細>

感情変化の声をコントロールして聞き手へ届ける方法

母音を活用した抑揚表現と口形の活用と中間音（感情変化の中間点）と
任意の点（オプションポイント）の練習

子音と母音、母音の長さ

呼吸とテンポの心情変化の関係性

口形維持と口形変化

スローイングスキルで表現の安定ポイントをつくる

感情表現のポジション / 喜怒哀楽とホワイトゾーン

事前の位置（イメージや対象の位置と遠近）

事前の位置の活用（移動と速度）

間の必要性と積極的な使用を計画する活用法

推定「～らしい」、推量「～そうだ」、断定「～だって」、事実「～だ、です」の判断
（事実の信憑性）

演者の立ち位置と対象者の設定

（聴者との関係性「見知らぬ年上」「知っている顔」「よく知っている」「身内」など）

Voice collage project

<講座の内容の詳細>

表現基礎となる余白の活用

書かれていない余白を付け加えた表現手段の作り方

<人物の時代背景と生活を考えよう！>

自分の今の生活と作品の生活で、出来ることと出来ないことを探して衣食住を過去から未来の3週間分考える。

<登場人物はどんな性格？>

人物が所属しているコミュニティの常識、行動規範を考える。

コミュニティへの対応 / 人物の仮面「こう見られたい、思われたい！」を考える。

/ 強い怒りの感情を抱く状況での文句や言葉を考える。

/ 影響を受けた出来事や環境をシーンとして考える。

/ 人物の判断のつかない、揺れの内容を考える。

人物の思考へのアプローチ / 親と子、子供時代、社会生活時で経験した印象的な出来事を創作する。

<シーン内での心情変化を考える？>

構成が反対に流れないポイントを強調する（喜怒哀楽の活用）

<講座の内容の詳細>

伝える表現の再現性に必要な文法的理解

意識をした表現の為の品詞の活用

地の文の状況説明や心情への対応は心情吐露か、問いかけかの判断（伝えかたの種類）

文章と文章内単語の主観と客観の判断（感情ベクトルの把握と計画）

/ 動詞の種類（感情動詞と状況・行動動詞）

/ 主観表現の修飾の種類1（形容詞と副詞）と比喻への理解（直喩と隠喩）

/ 主観表現の修飾の種類2（書かれている作者独自の主観情報と、朗読者の主観相違について）

/ 名詞の表現で考えられる事柄
（名詞に付加する書かれていない修飾表現の有無）

/ 接続詞、接続助詞を活用した表現への転換）

Voice collage project

<講座の内容の詳細>

コーチングスキルを活用する

相手が書かれている文章をどう伝えたいのか？を考える

どんな事、どんな気持ちを伝えたいのか？

どこの箇所、どこの文から、その判断したのか？

何を伝えるか？という意識が明確になっているのか？

どのように表現したいのか？

解決の方法と順番を提案して、一つずつ明確に対応

モアーを増やすことと、各トライ&チャレンジを提案する

アドバイスは否定ではなくモアーとしてアドバイス